

一 般 教 育 訓 練 明 示 書

講座の名称	看護学教員養成課程													
実施方法	① 通学 (昼間・夜間・土日) ② 通信 スクーリング(回数 回)													
指定講座番号	1	0	0	9	7	—	1	5	1	0	0	1	—	0
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象講座の指定期間			過去一年の講座実績			入講者数(累積) (17 人)			修了者数 (17 人)				
平成24年4月1日	平成30年3月31日まで													
訓練期間	11ヶ月						総訓練時間			855時間				
1. 教育訓練目標														
①取得目標とする資格の名称、目標レベル				看護師等学校養成所専任教員										
②①に係る資格・試験等の実施機関名称				厚生労働省										
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等				保健師、助産師、看護師の資格取得後、常勤(週40時間)換算で、5年以上の実務経験										
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況				看護師等学校養成所専任教員										
2. 教育訓練の内容														
教科 (カリキュラム)							時間			使用教材名				
基礎分野 5科目(下記内訳)							135時間							
倫理と教育							30時間							
情報と教育							30時間							
教育の原理							15時間			2015 教育六法(三省堂)				
青年期の発達と学習							30時間							
教育環境							30時間							
専門分野 15科目(下記内訳)							720時間							
看護の本質と専門性Ⅰ(概論)							30時間							
看護の本質と専門性Ⅱ(概念規定)							30時間							
教員と学生の理解							15時間			看護学教育における授業展開 医学書院2013				
看護学教育制度論							15時間			看護学教育学 第5版増補版 医学書院2013 平成27年度版看護六法				
看護学教育課程論Ⅰ(カリキュラム編成の基礎)							45時間			看護教育カリキュラム—その作成過程 医学書院1998				
看護学教育課程論Ⅱ(カリキュラム構造の理解)							15時間			看護教育カリキュラム—その作成過程 医学書院1998				
看護学教育課程論Ⅲ(カリキュラム編成の実際)							90時間			看護教育カリキュラム—その作成過程 医学書院1998				
看護学教育授業展開論Ⅰ							45時間			看護学教育における授業展開 医学書院2013 成長するティップス先生 大学教員のための授業方法とデザイン				
看護学教育授業展開論Ⅱ(講義)							135時間			看護学教育における授業展開 医学書院2013				
看護学教育授業展開論Ⅲ(演習)							60時間			看護学教育における授業展開 医学書院2013				
看護学教育授業展開論Ⅳ(実習)							105時間			看護学教育における授業展開 医学書院2013				
看護学教育評価論							60時間			看護学教育における授業展開 医学書院2013 看護学教育における講義・演習・実習の評価				
看護学教育研究Ⅰ(研究の理解)							30時間			看護における研究 日本看護協会出版会 2008				
看護学教育研究Ⅱ(研究の成果の活用)							30時間							
看護学教育組織運営論							15時間							
合計							855時間							
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)														
①受講するに当たって必要な実務経験等				保健師、助産師、看護師の資格取得後、常勤(週40時間)換算で、5年以上の実務経験										
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準				大学入学資格										
③その他														

一般教育訓練明示書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況					
(1) 資格取得状況					
① 昨年度内の受講修了者数	17	人			
② ①のうち目標資格の受験者数	17	人	受験率(②/①)	100.0	%
③ ②のうち合格者数	17	人	合格率(③/②)	100.0	%
④ 上記②・③の回答者数	17	人			
(2) 受講修了者による講座の評価等					
① 回答者総数	17	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	17	人	②A: 就業者計	17人
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 学生	0	人	②B: 非就業者計	0人
	5 求職中	0	人		
	6 その他(主婦、無職等)	0	人		
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	15	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	17人
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人		
	3 社内外の評価が高まる	2	人		
	4 円滑な転職に役立つ	0	人		
	5 趣味・教養に役立つ	0	人		
	6 その他の効果	0	人		
	7 特に効果はない	0	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	0	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	0人
	2 希望の職種・業界で就職できる	0	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0	人		
	4 趣味・教養に役立つ	0	人		
	5 その他の効果	0	人		
	6 特に効果はない	0	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	17	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	17人
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	0	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	2	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	17人
	2 おおむね満足	13	人		
	3 どちらとも言えない	2	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法					
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法		教科担当教員により試験、レポートで習得度を確認している			
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数					
6. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法					
所定の授業時間の3分の2以上の出席本課程に11ヶ月在籍し、所定の単位及び時間数(34単位 855時間)を修得した場合、その結果を学長に報告し、学長より修了証が交付される					

一 般 教 育 訓 練 明 示 書

7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法			
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	希望に応じて個別に指導を行っている		
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	求人情報の提供		
8. その他の事項			
指定教育訓練実施者名及び代表者名	群馬県	(代表者名: 県知事 大澤 正明)	
住所及び連絡先	群馬県前橋市大手町1-1-1	TEL 027-223-1111	
施設名称及び施設長名	群馬県立県民健康科学大学	(施設長: 学長 土井 邦雄)	
住所及び連絡先	群馬県前橋市上沖町323-1	TEL 027-235-1211	
給付制度担当部署・者	教務係	(担当者: 嘱託 山田 泉)	
連絡先	TEL 027-235-9577		
一般教育訓練経費 支払い方法	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)		円
① 一括払	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)		円
② 分割払	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	200,000 円	(うち、必須教材費 円)
③ 両方可能	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		32,076円
	① 副読本代(税込額)	32,076 円	
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)	円	
	③ 施設維持費(税込額)	円	
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	円	
	3. 総額 (1+2) (税込額)		232,076 円

[特記事項]

--